



2016年度の全国信用金庫の預金・貸出金動向（速報）

企業向け貸出の好調から、預貸率が3年ぶりに50%台を回復

高牟礼 貞宜

ポイント

- 2017年3月末の預金残高は、年度末として過去最高の137.9兆円となった。預金の前年同月比の伸び率は、16年度序盤には2%を割り込む水準にまで低下したものの、その後やや持ち直し、16年度通期では2.3%と相応の伸び率を回復した。
- 17年3月末の貸出金残高は、69.2兆円となった。貸出金の前年同月比の増減率は、15年1月以降は2%以上の伸びを維持してきたが、17年3月末には2.7%と、月末ベースで見ても1995年度3月末以降で最も高い伸び率となった。預貸率は50.1%と、3年ぶりに50%台を回復した。
- 預金全体の伸び率に対する預金者別の寄与度は、相対的に個人の寄与度が低下し法人が上昇する傾向が窺われる。預金種別にみると、要求払預金が寄与度を高める一方、定期性預金はマイナスの寄与に転じた。
- 貸出金全体の伸び率に対する貸出先別の寄与度は、引き続き企業向け設備資金や住宅ローンが寄与しており、09年12月以降マイナスに寄与してきた企業向け運転資金も、17年2月にはようやくわずかながらプラスの寄与に転じた。

※本稿の計数は、決算補正前の計数を含む速報ベースであるため、今後修正される可能性がある。

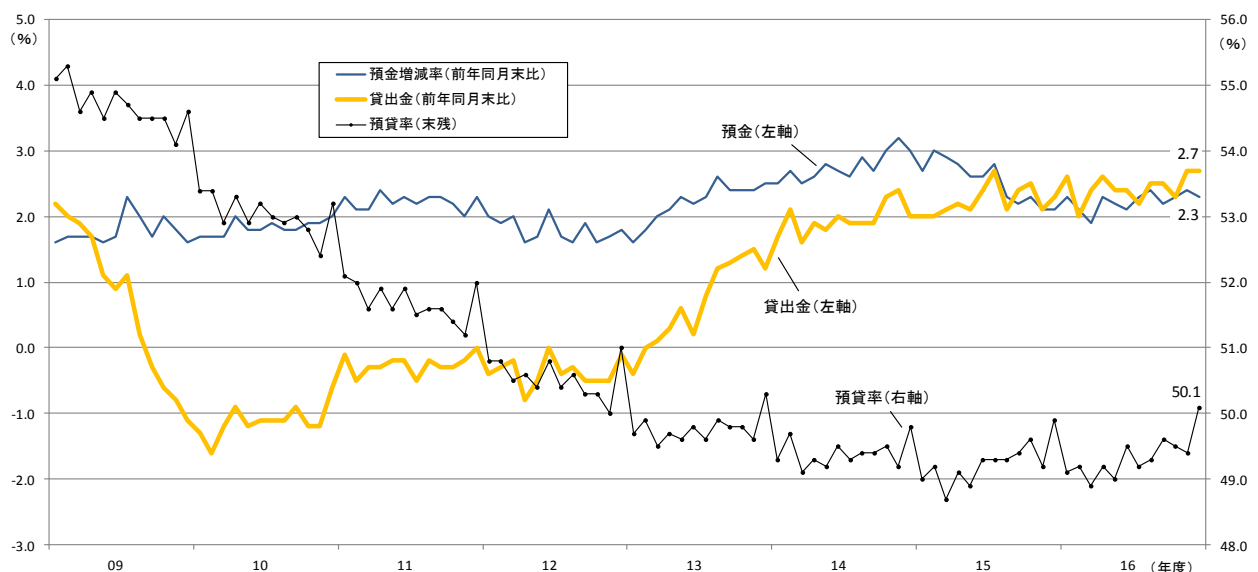
1. 2016年度の預金・貸出金動向

決算補正前の速報ベースの計数によると、2017年3月末の全国信用金庫の預金残高は、年度末として過去最高の137.9兆円となった。前年同月比の預金の伸び率は、14年度終盤から15年度序盤にかけて3%台にまで高まったのち低下傾向に転じ、16年度序盤には2%を割り

込む水準にまで低下したが、その後やや持ち直し、17年3月末は2.3%と相応の伸び率を回復した(図表1)。

一方、17年3月末の貸出金残高は69.2兆円となった。前年同月比の貸出金の増減率は、13年5月に増加に転じて以降、徐々に増勢を強めており、15年1月以降は2%以上の伸びを維持

(図表1) 預金・貸出金伸び率(前年同月末比)および預貸率(末残)の動向



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

してきたが、17年3月末は2.7%と、月末ベースで見ても1995年度の2.9%以来の最も高い伸び率となった。

15年12月以降、総じて貸出金の伸びが預金の伸びを上回って推移した結果、16年度末の預貸率は50.1%と、14年3月以来3年ぶりに50%台を回復した。

2. 預金の増加要因

17年2月末（現時点で預金者別の計数が把握できる最新データ）の預金者別の残高は、預金計の138.6兆円に対し、個人が109兆円（78.6%）、法人が23.2兆円（16.7%）、公金が5.2兆円（3.7%）、金融機関が1.1兆円（0.8%）を占めた。

これを、例年に倣い、各預金者が預金全体の伸びに対してどの程度寄与したのか、という視点から見ると、相対的に個人の寄与が低下し法人が上昇する傾向が窺われる（図表2）。また、同様に預金種別に寄与度を見ると¹、貸出の増加もあって要求払預金の寄与が拡大して流動性が高まっている様子が窺われる一方、マイナス金利下において定期性預金は寄与度を低下させており、17年2月には06年10月以来のマイナスの寄与に転じている（図表3）。

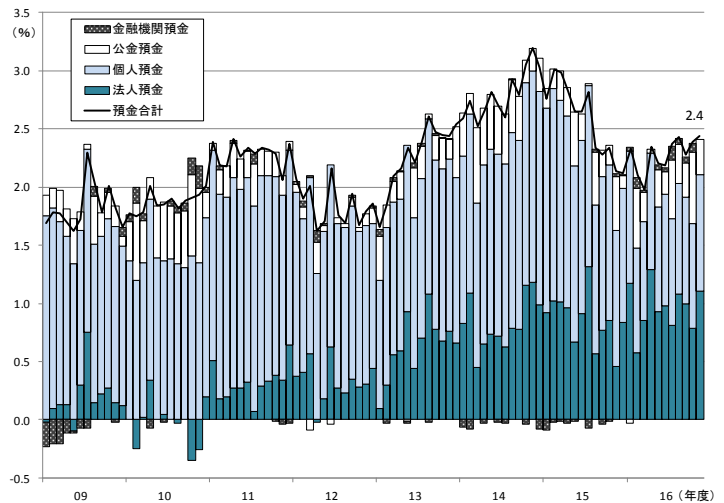
4. 貸出金の増減要因

17年2月末時点の貸出先別（さらに個人は住宅ローンとその他、企業は設備資金と運転資金に分解）の状況は、貸出金計68.5兆円に対して、個人（住宅ローン）が16.7兆円（24.3%）、個人（その他）が3兆円（4.3%）、企業（設備資金）が20.2兆円（29.5%）、企業（運転資金）が21兆円（30.6%）、地公体が5.3兆円（7.7%）、金融・保険業が2.2兆円（3.2%）であった。

預金と同様の視点から貸出金全体の伸び率に対する寄与度をみると、引き続き企業向け設備資金や住宅ローンが寄与している様子が窺われる（図表4）。また、09年12月以降マイナスに寄与し続けてきた企業向け運転資金は16年度に入ってその幅を縮小させ、17年2月によりやくわずかながらプラスの寄与に転じた。 以上

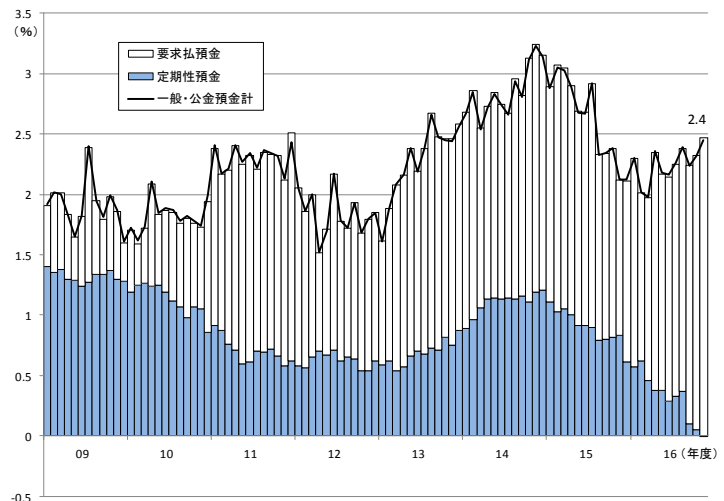
¹ 預金種別の分からない公金預金、金融機関預金は除いて算出した。

（図表2）預金者別の動向（前年同月末比の寄与度）



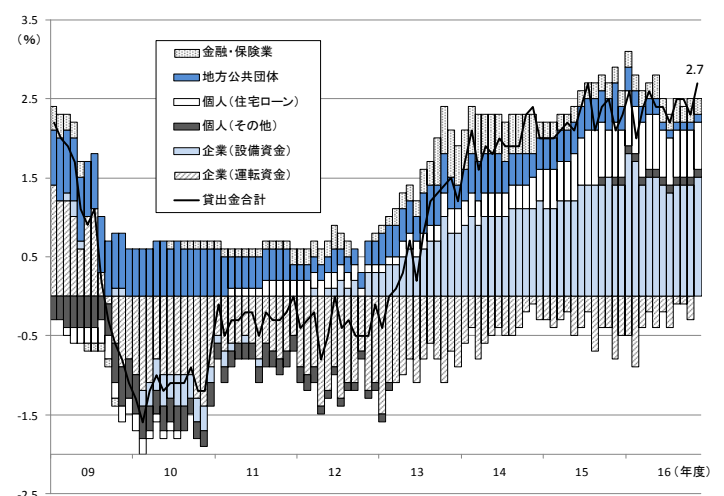
（備考）「預金・現金・貸出金調査表」より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

（図表3）預金種別の動向（前年同月末比の寄与度）



（備考）図表2に同じ。

（図表4）貸出先別の動向（前年同月末比の寄与度）



（備考）図表2に同じ。